

豊かな心の育成～勤労生産学習を通して (地域の農家、勝山臼ひきの会との連携)

☆生活科、理科、総合的な学習の時間

【講師】 農業指導委員：倉澤吉郎さん

勝山花卉農家：小佐野成太郎さん、堀内美亀男さん、流石文さん、流石昭仁さん

勝山臼ひきの会：代表 倉澤邦子さん 他12名

1 目的と経緯

- ・農作物を育てる経験を通して、生き物を大切にする心情を養うと共に、働くことの意義やその喜びを味わわせ、豊かな心を育成する。
- ・10年以上にわたり、地域の農家の方々に招いて、1年生「さつまいも」3年生「とうもろこし」6年生「じゃがいも」の植え付け指導や植物の特徴などを教えていただく活動を行っている。



1年生 さつまいも植え付け体験

2 内容

- ・1年生は生活科の学習において、5月に地域の農家の指導のもとでさつまいもの苗の植え付けを行った。児童は、直接土を触り、柔らかく温かい感触に感動していた。除草などの世話を定期的に行い、10月には収穫を迎え、収穫物の一部を学校給食のメニューで提供した。
- ・3年生は総合的な学習の時間において、5月にトウモロコシの苗の植え付けを農家の方々に指導していただいた。除草や追肥についてアドバイスを受けながら世話をし、7月に収穫した。収穫物の一部は、児童が乾燥に石臼などを使って製粉し、12月に勝山臼ひきの会の方々の指導で、伝統のもろこし団子を作った。
- ・6年生は理科の学習として、じゃがいものからだのつくりについて地域の農家の方々からお話を伺い、4月には実際に種芋を植える体験を行った。



6年生 農業指導員によるお話



3年生 もろこし団子づくり

3 成果と課題

- ・収穫した作物を大事に抱え、笑顔で活動する児童の様子から勤労の大変さと共に喜びを味わっている様子がうかがえた。
- ・児童は勝山地区の歴史や地域について、体験しながら学びを深めることができた。また、地域の方々にとっては、児童とのふれあいを活動の一つのモチベーションとされており、学校と地域の双方にとって大きな意義を担っている。
- ・講師の方々が徐々に高齢になられており、今後の連携の形について各団体と連絡調整が必要である。